

演習解説

①O Henry の短編小説 Schools and Schools の日本語訳が読みたい。

ルート 1

人文リンク集>文学 の ” 翻訳作品集集成 ameqlist” を開き、検索窓に Schools and Schools で検索するとヒットする。講談社文庫『O・ヘンリー名作集』(1973)に所収。

ルート 2

Google 検索で「” Schools and Schools” 翻訳」(引用符あり)等で検索すると個人のブログがヒットし、同書にたどり着くことができる。

ルート 3

調べ方案内の「外国語から日本語に翻訳された文学作品を探すための書誌・目録」のうち、大空社『世界文学総合目録 アメリカ編』p.92 を参照すると、上記資料のほかに岩崎書店『O・ヘンリー少女名作全集. 5』(1965)にも収載されていることがわかる。

■ポイント

- ・「人文リンク集」の活用
- ・Google 検索のコツ
- ・レファレンスブックの重要性

②『随筆其日其日』という本を書いた関魚川という人物について、生没年等の略歴を知りたい。

※一般的なデータベース、人名事典類ではヒットしない。新聞記者であったようだが、そちら関係でも見つからない。

NDL-OPAC で同名で検索すると、他の出版物の出版地が長岡とある。

人文リンク集等から、調べ方案内「人物文献(伝記など)を探す(日本)」内の「地域の人物文献目録・データベース」にある「新潟県立図書館 新潟県関係雑誌記事索引データベース」で検索するとヒットする。関魚川(1870-1942)とある。

典拠として挙げられている『堀之内町史』(1956) p.392 を確認すると、略歴が掲載されている。

■ポイント

- ・ 書誌事項等からできるだけ手がかりを集める
- ・ 「人文リンク集」「調べ方案内」の活用
- ・ Google ではヒットしない Web 上の情報もまだたくさんある

③昭和 12 年当時の警察官の制服について知りたい。百科事典に小さく載っているのは見つかったが、不鮮明で使えない。レプリカが制作したいので、できるだけ詳細なものが欲しい。

リサーチナビ等で検索するとレファ協の事例がヒットするが、詳細な画像が掲載されている資料はなさそう。OPAC でキーワード検索をすると、軍隊関係はありそうだが、警察のものは見つからない。掲載されていても詳細なものではなさそう。

制服ということで、法令で決まっているものであるはず。(Yahoo 知恵袋に記述あり、参考にしてもよい。知恵袋では画像には至らない)

日本法令索引で「警察 制服」で検索するも、それらしいものはヒットしない。Google 等で検索したり参考図書に当たるなどして、「服制」という言葉に辿り着くことが大事。辿り着くことができれば、日本法令索引の廃止法令検索で「警察 服制」で検索すると、以下のものが見つかる。

警察官及消防官服制(昭和 10 年 6 月 21 日勅令第 167 号)

法令沿革で確認すると昭和 16 年まで改正はないので、これで OK。官報へのリンクをクリックすると、詳細な仕様が確認できる。

■ポイント

- ・ 画像ということでも図鑑類等が全てではない
- ・ 用語の重要性
- ・ 立ち戻って目先を変えてみるのも有効
- ・ 調査のジャンルを固定しない

④戦前のキリスト教関係の雑誌『救の光』を探している。ハンナ・リデルという宣教師が関係していたらしい。

キリスト教関係の機関、目録では出てこない。ハンナ・リデルはハンセン病に関係した人物であることがわかるため、そちらからの調査に切り替える。

ルート 1

Google で「ハンセン病」「文献」等で検索すると、「ハンセン病のリンク集」というサイトが見つかる。その中で紹介されている「らい文献目録」というデータベースで検索すると、書誌情報が見つかる。

「らい文献目録」で Google で再検索すると、「長島愛生園編集「らい文献目録社会編」（昭和 32 年刊）同園所蔵文献検索」というものであることがわかり、長島愛生園の図書室「神谷書庫」で所蔵していることがわかる。

ルート 2

NDL-OPAC でキーワード「ハンセン病」「目録」と検索すると、冊子体の「らい文献目録」がヒットする。デジタル化資料もしくは各館所蔵の冊子体で確認すると、同様に所蔵が確認できる。

■ポイント

- ・ 調査の視点を変えてみる
- ・ 目録を探し当てることの重要性和難しさ
- ・ 経験の必要性